

那覇青色申告納税貯蓄組合だより

納税貯蓄組合は、昭和26年4月10日に納税貯蓄組合法によって設立され、本組合は昭和59年5月30日に設立し、納税資金の備蓄、納税の期限内完納の定着化と振替納税制度の利用勧奨並びに普及拡大に努め、納税道義の高揚を図り、また次代を担う少年少女層に対する租税教育推進の一環として、税についての関心を高め、正しく理解してもらうための「税についての作文」募集を行っております。

第32回目の作文募集を実施し、本組合管内にある中学校31校の内、28校から2,210編にも上がる作文が寄せられました。

審査の結果、国税庁長官賞1編、(一財)大蔵財務協会理事長賞1編、全国納税貯蓄組合連合会優秀賞1編、那覇税務署署長賞3編、沖縄県納税貯蓄組合連合会会長賞2編、沖縄県納税貯蓄組合連合会優秀賞19編、那覇市関係2編、糸満市関係4編、本組合長賞3編、本組合優秀賞20編の計56編が入選し「賞状」と「副賞」が贈られました。

税についての作文表彰式



沖縄国税事務所関係表彰式
日時：平成29年11月16日
場所：南部合同庁舎



那覇市租推協関係表彰式
日時：平成29年11月15日
場所：南部合同庁舎



糸満市租推協関係表彰式
日時：平成29年11月14日
場所：糸満市役所

国税庁長官賞

温かい眼差しに見守られて

那覇市立 那覇中学校 三年

喜納 徳子 さん

私が初めて税金という言葉を意識したのは小学校一年生の時です。体育館での入学式を終え、一年二組の教室に入ると自分の名前が書いてある机に袋が置いてありました。

そしてその中には憧れの教科書が入っていました。私は三人兄弟の末っ子で、兄達が毎朝ランドセルに教科書を入れて学校へ行くのを羨ましく思っていたのです。

私もやっとお兄ちゃん達と同じ小学生になったととても嬉しかったことを覚えています。家に帰って早速、母と一緒に憧れの教科書をそっと開いてみました。かわいい絵が沢山で、平仮名や片仮名、計算、植物の事、学校生活の事、自分が急に大きく賢くなったような気がしました。私は母に、「学校っていいね。本がただで貰えるんだね。」と言いました。↗



すると母は教科書の裏表紙に書かれた文を見せてくれました。そこには私が読めるようにふり仮名つきで、「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、国民の税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書かれてありました。母は皆が少しずつ納めた税金によって私達は安心して学校に通えるのだと説明してくれました。

母は「だからこれはただではないよ。未来の日本を背負う子ども達への投資だよ。子ども達はきっと日本の未来を良くしてくれるだろうと信じて皆で支えているんだよ。しっかり勉強して立派な大人になって今度は支える側になれるよう頑張るね。」と言いました。その時私は、私の将来を楽しみにしている沢山の人が私を見守ってくれているようで心が温かくなりました。そして、教科書を大切にしよう、しっかり勉強しようと思えました。↗